



国立大学法人
総合研究大学院大学

湘南国際村フェスティバル 2011

サイエンスカフェ

科学を伝える

≫2011 5/3

話し手

土屋 隼人

〔自然科学研究機構 核融合科学研究所 助教〕

「1万年つかえるエネルギーをもとめて」

震災の影響でエネルギー不足が多くの人に関心事になっています。講演では日本のエネルギー事情に触れた後、1万年利用できる新たなエネルギー源「核融合」の概要と開発状況について説明します。

話し手

乾 こゆる

〔総合研究大学院大学 生命共生体進化学専攻〕

「みんなに大切な AQUAPORIN」

私たち人間を含めた生物にとって大切な水。どうして水は大切なの？ きっと一度は疑問に感じたことがある人は多いはず。そして、その水を細胞に取り込んだり、出したりする、通り道があります。それがAQUAPORINという水チャンネル。AQUAPORIN とは何かをご紹介します。

話し手

長勢 晃一

〔総合研究大学院大学 宇宙科学専攻〕

「宇宙から観る赤外線天文学」

宇宙のはるか遠くからやってくる「光」にはどのようなものがあるのかを導入として説明したのち、宇宙からの「光」を観測する手法について、赤外線をキーワードに紹介します。また、赤外線天文学の現状の例として、日本の赤外線天文衛星「あかり」によって得られた成果の一部を紹介します。

司会：眞山 聡

〔総合研究大学院大学 学融合推進センター 助教〕